

## 次期計画策定にかかるニーズ調査等の実施について

### 1. ニーズ調査の実施

現在、宇治市では、平成32年度を始期とする5か年計画である「次期宇治市子ども・子育て支援事業計画」の策定作業を進めており、その一環として、子育て中の保護者の意向を把握するため、平成31年3月頃にニーズ調査の実施を予定しています。

また、宇治市では、次期計画に“子どもの貧困対策”を含めた内容とするため、子どもの貧困対策にかかる必要な調査項目を加えた形でニーズ調査を実施します。

ニーズ調査の項目と実施手法については次のとおりです。

### 2. ニーズ調査の項目と実施手法

(1) 前回・・・現在の計画策定時 <調査票：2種類>

国が示す調査項目＋府の独自項目＋市の独自項目

- |              |          |
|--------------|----------|
| ① 就学前児童の保護者用 | 1,500 世帯 |
| ② 小学生の保護者用   | 1,500 世帯 |

(2) 今回（案） <調査票：4種類>

国が示す調査項目＋府の独自項目＋市の独自項目（貧困に関する設問を追加）

- |              |          |                |
|--------------|----------|----------------|
| ① 就学前児童の保護者用 | 1,500 世帯 |                |
| ② 小学生の保護者用   | 1,500 世帯 |                |
| ③ 中高生等の保護者用  | 1,500 世帯 | （新規追加）         |
| ④ 子ども用       | 2,500 人  | （新規追加：小学3年生以上） |

### 3. 調査項目の検討

国・京都府が示すモデル調査票をもとに、宇治市が契約したコンサルティング会社からの提案・アドバイスを受けて、市独自で子どもの貧困に関連する設問等を追加した、宇治市におけるニーズ調査の調査票案（4種類）は別紙のとおりです。

ただし、設問数が相当多くなることから、回答者の負担を軽減するため、必須項目以外の設問については、削除することも含めて検討する必要があります。

今後、平成 31 年 3 月下旬の調査実施に向けて、子ども・子育て会議等のご意見をいただく中で、設問や選択肢などを調整しながら、調査票の作製を進めていきます。

#### 4. 次期計画とニーズ調査等のイメージ図

前回調査時からのニーズの変化を把握するため、基本的には前回計画策定時を踏まえた調査対象・項目としながら、今回調査から、子どもの貧困に関連する設問を追加するとともに、中高生等の保護者への調査と、子ども自身が回答する調査を新規で実施します。

